

豊中における安心生活創造事業の概要

～都市部における地域活動・有償活動・事業所による見守りの総合的な展開～

社会福祉法人豊中市社会福祉協議会

地域福祉課長 勝部麗子

はじめに

1, 豊中の概況

人口	394,386
高齢化率	167,162
自治会平均加入率	47.4%
一人暮らし高齢者登録	5202
校区見守り世帯数	10000 世帯

2, 豊中市社会福祉協議会の概況

(1)経過

昭和 58 年	法人化
昭和 62 年	賛助会費制導入
昭和 63 年	福祉の町づくり講座・給食サービス実施
平成 4 年	校区ボランティア部会
平成 7 年	阪神淡路大震災
平成 8 年	小地域福祉ネットワーク事業スタート
平成 9 年	ふれあいの町づくり事業指定
平成 10 年	小地域福祉ネットワーク事業が大阪府の事業に
平成 15 年	市と協働で地域福祉計画策定開始 全校区で校区福祉検討会
平成 16 年	地域福祉計画策定・地域福祉活動計画策定

福祉なんでも相談窓口&コミュニティソーシャルワーカー配置

(2) 一人暮らし高齢者を支える従来の地域福祉活動

- ① 校区福祉委員会 38 校区
 - 小地域福祉ネットワーク活動 見守り・声掛け・個別支援、福祉なんでも相談会食会、ふれあいサロン、ミニデイ
 - 重度障害者等安否確認事業 5978 世帯
 - ひとり暮らし老人の会の支援
- ② 当事者の組織化
 - ひとり暮らし老人の会 37 校区
 - 会員同士の助け合い ブロック活動、お元気コール シングル作品展 お誕生会
- ③ ボランティアセンター
 - 友愛電話訪問 月 1 回 電話による
 - 個別支援 話し相手、外出支援、家のかたづけ、
- ④ 有償サービス
 - 生活支援サービス、介護保険サービス、NPO などによる支援
- ⑤ 民生委員による一人暮らしの登録 見守り活動
- ⑥ その他 貸付、相談事業、介護相談員派遣事業 などなど

(2) 校区福祉委員会の変遷

38 校区福祉委員会

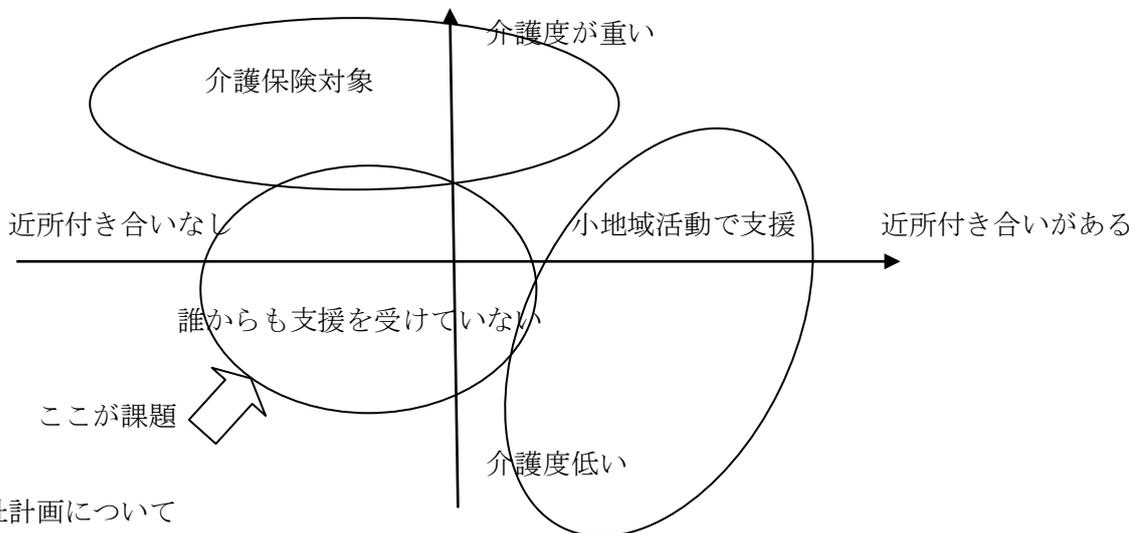
ボランティア部会の組織化

小地域福祉ネットワークを全校区で実施 地域ミニマムを確立

福祉なんでも相談窓口は地域ニーズの把握

地域福祉計画で配置されたコミュニティソーシャルワーカーが公民をつなぐ

3、地域での一人暮らしの要援護者の把握



4、地域福祉計画について

地域福祉拠点

身近な地域の相談窓口

行政と市民と事業者のパートナーシップ 市職員研修、新任教員研修、ライフプラン研修など

5、ライフセーフティネットの仕組み

1) コミュニティソーシャルワーカーの配置

小学校区の活動をベースに市内生活圏域 7 圏域に 2 名配置(大阪府の事業は中学校区)

地域支援保育士、地域包括支援センター、保健師などとのチームアプローチ

社会福祉士(大阪府の専門養成研修)

狭間の課題を校区のネットワーク力を背景にチームワークで支える

2) 福祉なんでも相談窓口 小学校区福祉委員会に一つ身近な地域の相談窓口 予防的なニーズキャッチ

3) 地域福祉ネットワーク会議 圏域内の事業所、専門職、民生委員校区福祉委員が一堂に会する

4) ライフセーフティネット総合調整会議 市全域 …システム図参照

6、公民協働の支援ネットワークで支えるCSW事例

1) 行政サービスに結びつかないケースの掘り起こし…ひきこもり

サービス拒否 判断能力の乏しい人、

2) フォーマルサービス、インフォーマルサポートで支える

3) 地域事業につなぐ(地域移行、社会的孤立)

7、個別支援から町づくりの課題を仕組みへの具体的なプロジェクト

徘徊 SOS メール

ごみ屋敷リセットプロジェクト

悪質リフォーム対策会議

男性介護者交流の集い

若い介護者の集い

校区単位の車イスの貸し出し

ちょボラサロン

高次脳機能障害家族交流会

ケアマネジャーと地域活動連携の為のガイドライン

ひとり暮らし高齢者支援方策検討委員会

75才以上のひとり暮らし高齢者アンケート 8000人アンケート

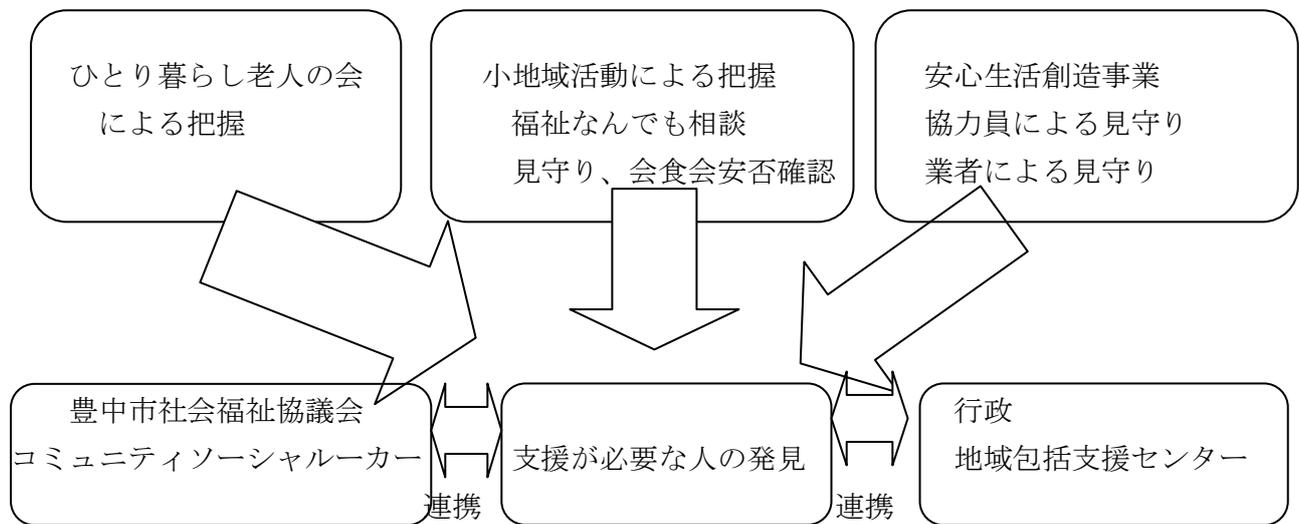
広汎性発達障害家族交流会

小地域活動次世代人材養成プロジェクト

権利擁護センターアクションプラン

などなど

8、安心生活創造事業の挑戦



- 1) 安心生活創造事業推進委員会設置
- 2) ひとり暮らしアンケート調査 7000人
地域活動とニーズ把握と安心協力員希望者につなぐ
- 3) 安心協力員養成研修 185人
- 4) 校区福祉委員会での問題把握・解決 福祉なんでも相談に年間 500件 CSWで2000件
- 5) 安心協力員派遣サービス…有償サービス…新たなつながりの再構築
利用者の声
- 6) ひとり暮らし応援事業所ネットワーク…消費生活での新しいニーズ把握の仕組み
ステッカー、募金箱、買い物の支援リスト化
- 7) 安心生活創造事業シンボルマーク

9、今後の課題

- 1) 全市展開への希望
- 2) 第4のポケット 遠距離介護、安定財源
- 3) 買い物支援の仕組みづくり 応援事業所リスト
- 4) 無縁社会への対応…保証人、緊急連絡先、後見人
- 5) 権利擁護の連続性 エンディングノートから安心協力員、法人後見まで…

